

## 評価概要

第1 評価対象事業77事業のうち、事業の必要性、効率化、合理化等の観点から見直す必要があることが判明した事業は、既に措置を講じた事業を含め、合計で36事業（46.8%）であった。

また、新たに目標設定を行った事業は11事業、平成17年度より目標を改善した事業は19事業であった。

### 第2 評価類型

1 目標を達成（一部見込みを含む）した事業（58事業、75.3%）

（1）引き続き適切に実施する必要がある事業 32事業

（2）見直しが必要な事業

① 既に一部について見直しを行った事業 1事業

② 既に一部について見直しを行ったが、さらに、必要性、効率化、合理化等の観点から見直す必要がある事業 5事業

③ 今後、必要性、効率化、合理化等の観点から見直す必要がある事業 16事業

（3）既に廃止した事業 4事業

2 目標を一部達成した事業（16事業、20.8%）

※ 目標達成のために広報等の手法の検討が必要

（1）引き続き適切に実施する必要がある事業 9事業

（2）見直しが必要な事業

① 既に一部について見直しを行ったが、さらに、必要性、効率化、合理化等の観点から見直す必要がある事業 1事業

② 今後、必要性、効率化、合理化等の観点から見直す必要がある事業 4事業

（3）既に廃止した事業 2事業

3 目標を達成できなかった事業（3事業、3.9%）

（1）既に一部について見直しを行ったが、さらに、廃止を含め見直す必要がある事業 1事業

（2）既に廃止した事業 2事業

### 第3 目標の見直し

1 新たに目標設定（11事業）

（1）平成18年度に新たに目標設定した事業 5事業

（2）平成18年度新規事業 6事業

2 平成17年度目標を改善した事業（19事業）